

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2018年5月1日 176号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護

New Wind to Leda



(左より) 吉村氏、園田君、野村君、福島さん、河野さん、笠木さん。4月6日

開拓地レダに吹き込んで来た希望の新風!

レダ基地における青年たちの存在は、若々しい希望の新風を吹き込んでくれています。彼らはそれぞれに個性豊かな性格で、その特性を生かした分野での活躍は頼もしいです。

●木村君「レダは本気で自分と向き合える所であり、自分を試せる場所であり、人格的に成長できる最高の場所だ。」「自分への天の願いが何かを探し求めながら、現在豚の世話に専念。道路事情が悪いので、レダ基地から毎日ボートで四キロ離れた豚ランドまで通っています。特に川岸から豚ランドへの二〇〇メートルは、数十センチの水かさがあるため、歩くのも大変です。」

●梶本君「自然が豊かで、あらゆる可能性を秘めている場所だ。」「現在、奥迫夫妻の手伝いをしながらエビの養殖と取り組んでいます。責任感の強い青年。美味しいパンを焼いてくれます。」

●笠木さん「レダは、文先生夫妻の開拓精神と愛の伝統を相続できる場所だ。生きてお会いできなかった文先生にたくさん出会うことができる。また自然を通じて神様の愛を感じる。」「室内の掃除や整理、野菜作りなどで奉仕をするほか、工夫を凝らして好みの料理を作り、皆を楽しませてくれています。」

●河野さん「レダは、本当の意味で人間と自然が共存できる場所だ。愛は何より大切だが、技術や資金もレダ開発には必要だ。」「レダでのプログラムに取り組み積極的な姿勢が漲っています。」

●福島さん「地獄の地から駆け上がった、理想郷勝利の道のりを感じる所だ。」「皆と協調性豊かに歩もうとしています。」

●野村君「自然が豊かで良い場所だ。神様の導きでここに來れたことが何より感謝だ。農業大学で学んだ知識を存分に活かした奉仕活動をこの地でしたい。」

●園田君「レダは、自分を成長させてくれる訓練場だ。先輩方や労働者たちを通じて学べる人が多いので、素晴らしいものをどんどん吸収して自分のものにして行きたい。」

●野口君は、リング栽培を日本で行って来ました。レダでは花壇の世話や、アセロラ畑の木の剪定を行ってくれました。今は養蜂に力を入れていて、蜂箱を置いてある場所までかなりの距離を小まめに歩いて通い、蜜蜂の世話をしています。

●奥迫夫妻は、エビの養殖に集中しています。エビの餌づくりや苦勞しながら取り組んでいます。最近アルテミアをレダで増やせる可能性を見つけたので、大きな希望を持っています。

●この若者たちの心に共通なのは、皆様の支援を通して開拓が進んでいると実感すること、そして日本で支援してくださる方々に感謝の思いでいっぱいということ。 (伊達記)

レダの若者たち



3名の到着を歓迎。シストさんは52歳の誕生日。3月28日



日本から着任した若者たちが、朝礼であいさつする。3月29日



日々草と百日草を手にも、笠木さん。



養蜂に情熱を燃やす野口君。



豚ランドで共に働く木村君と従業員。



パン作りに腕をふるう笠木さんと梶本君。



展望室の窓を修理する水落氏。



小橋氏から調理を学ぶカタリーナさん。



エビ養殖研究施設にて、梶本君と奥迫君。



トウガラシを育てるジョーンズ氏。



レタスを収穫する大和田氏。

第二十一回環境問題研究会を開催

三月十七日（土）午後一時半より、川崎市の大山街道ふるさと館三階の第二会議室において、第二十一回環境問題研究会を開催し、30名が参加しました。今回は、三年前の第十回にも珠玉の講義をされた、北里大学名誉教授であられ、公益財団法人農業・環境・健康研究所、農業大学校長を務める、陽捷行（みなみかつゆき）先生。講演テーマは、「世界の宗教と神話に土壤を讀む」で、この切り口からご自身の生涯の研究分野である土壤について、「文化土壤学ノススメ」「地球生命圏ガイア」「世界の主な宗教と土壤」「世界の神話と土壤」「世界の文明と土壤」「土壤とノーベル賞」などのサブテーマを掲げ、闊達に、またユーモアを交えながら語られました。宗教では、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、仏教、道教、儒教、神道、ヒンドゥー教各々が有する土・土壤の深義を、本邦初公開のパワーポイントで解説。神話では、メソポタミア神話、エジプト神話、ギリシャ神話等に表れる「土」について、時間を惜しみながら語られました。



語る陽捷行先生(3月17日)



熱心に聴講した参加者たち(大山街道ふるさと館)

次いで、質疑応答の時間では、生物多様性の三つの意義、里山や鎮守の



杜（もり）木（き）などについても触れました。最後は恒例の記念撮影をし、午後三時半、和やかに閉会しました。この講義の詳細については、環境問題研究会がまとめた別紙報告文をお読みください。

第十六回パンタナール一日研修会を開催

四月十四日（土）午前十時より、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター、国際交流棟において、当法人とNPO地球の緑を守る会の共催により、第十六回パンタナール一日研修会（ワンデイセミナー）を開催し、80名が参加しました。空は晴れ、若葉の繁る桜並木の代々木。セミナー会場は満席で、スタッフは立席になるほどの盛況。特に今回は、若者たちの姿が目立ちました。プログラム一番は、柴沼理事による「レバランド・ムーンの思想とレダ開発」。日本で指導的地位にあった壮年・熟年の先輩たちが、パンタナールにおいて天下一等の筋肉労働者になろうと、血と汗と涙で福地建設に献身してきた、これまでの18年余りの開拓史を、写真と動画を駆使して解説。ある意味では壮絶な内容を、愛と喜びの裏話として紹介しました。



研修会参加者とスタッフ。(撮影=石川)

午後一番は、地球の緑を守る会の高津代表理事による野外講義。前庭のタブノキの下では、人の生命を守ってくれる樹木について説明。さらに明治神宮の外縁に移動し、人手で都会に復元された「原生林の様相」を持つ、世界でも稀有な森を見学。「命を守る森造りは他人任せにせず、自らの手で！」と、植樹のすすめで結びました。続いて、島田青年局長による「レダの新プロジェクトと青年の活躍」では、中期青年ボランティアたち

の、養豚・養殖などにおけるエネルギーな活動と心情の世界を、現場の青年たちが撮影した多くの写真を用いてレポートしました。手の骨折にもめげず、環境汚染のない原野で最高峰の品質の蜂蜜生産を目指す青年。塩水で成長するエビの養殖のため、パラグアイと韓国の大学教授の協力も得て、日夜研究に没頭する若い研究者とその夫人。新しい風が吹くレダ基地です。中期ボランティアとして昨年八月からレダで奉仕してきた三宅君は、「何を思っていたか」「何を



明治神宮に復元した自然本来の森。(撮影=小田)

して来たか」「何を学び、何を感じたか」「一番印象に残ること（先生たちの姿）」などを簡潔かつ率直に報告。さらに「特別映像」として『豚マッサージ』『泳ぐ豚』が圧巻でした。後ほど、年配の参加者から、「素直に聴けて、世代間の距離が縮まりそうな思いがした」との感想も聞かれました。

最後に、今回共有された知見と希望を総括して、中田理事長より「レダにおける今後の展望」が語られ、特に稚魚放流計画の意義が強調されました。分科会では、各参加者が四つの中から好きなグループを選び、講師を囲んで質疑応答や意見交換をして、より親密な時間を持ちました。最後に後藤セミナー実行委員長が「天運を呼ぶことのできる歩みをなして行きましょう。皆さん、開拓20周年を共にレダで迎えましょう！」と訴え、午後五時に閉会しました。参加者の感想 ●先輩たちのコミットメントに感動しました。この運動の社会的な展開の奥にある現場の歩み、人間ドラマが見えて来ました。私もできることをしたいです。(男性) ●18年間本場にやっただけで素直に聞かせていただけ嬉しかったです。(女性)

ASDinNSA

HOME NEWS INFO PROJ. VIDEO PDF PHOTOS MAP



一般社団法人
南北米福地開発協会

生物多様性を守ろう

2017年11月 第14回パンタナール一日研究会は、2017年11月4日(土)、川崎市の大田区ふるとで開催されました。各講師、参加者、スタッフの皆様に感謝します。第14回は、2018年4月14日(土)に里山マリンパーク記念青少年総合センターで開催予定です。
2017年11月 第14回パンタナール一日研究会は、2017年11月4日(土)、川崎市の大田区ふるとで開催されました。三宮内1Fの1Fです。

- ニュースとお知らせ
News and notice
- パンタナール通信バックナンバー
Newsletters in PDF
- 南北米福地開発協会のご案内
About ASDinNSA
- 写真アルバム
Photos
- 活動の紹介
Projects and activities links
- リンク集 facebook links
- ビデオのご案内
Video Library
- パラグアイ、チャコ地方 旅の思い出
Travel tips (動画あり)
- LEDA クイズ
Leda Quiz
- Anso Leda! レダが大好き!
I Love Leda!

(一社)南北米福地開発協会ホームページ

ASDinNSA

HOME NEWS INFO PROJ. VIDEO PDF PHOTOS MAP

活動の紹介

Projects and activities



- 植樹活動
Tree planting
- 持続可能な牧場
Sustainable pasture
- 農業試験場
Agricultural experiment
- 学校等への支援
Support for schools
- 国際協力青年ボランティア
International Youth Service
- 教育施設の建設
Educational facilities
- 入会のご案内
Membership
- お便り送信フォーム
Mail Form
- 魚の養殖研究
Aquaculture (fish farm)

同、活動の紹介のページ

南北米福地開発協会 公式ウェブサイト

<https://asd-nsa.com>

パンタナール通信読者の皆様は、当法人のホームページをご覧になったことがありますか？

ニュース、お知らせ、活動紹介、パンタナール通信バックナンバー、写真アルバムなど、情報が満載！

写真アルバムは、人々、生きもの、農園、労働、花、青年ボランティアなどのテーマごとに、総数1400点を越える作品があります。

皆様からのご支援が現地での活動に力を与え、そこから生まれたのが、このウェブサイトです。



5 癒しの森へようこそ

癒しの森
この森は、自然の恵みを受け、木々の成長と共に、心も癒やされる癒しの森です。木々の葉が揺れる音、鳥のさえずり、風の音、水の音、土の匂い、すべてが癒しの森の恵みです。癒しの森へようこそ。

手入れの行き届いた癒しの森は、林床まで日光が届き、健康そうな下草が土壌を覆っている。

悲しみの森と癒しの森
森の幸せを考えてみよう

山梨県の滝子山の南麓、大月市笹子町白野に、「悲しみの森」と「癒しの森」があります。

● 悲しみの森 枝葉が繁って下草が生えず、降雨のたびに土が流される。木は根を張れず、やせた土壌は保水力を失い、土砂崩れや河川の氾濫の要因となる。木々は伐期を迎えながらも、材として利用されなくなった悲しみ。

● 癒しの森 適度に間伐され、手入れがされるなど、森の持つさまざまな力を未来に残す努力がされている。この森で過ごす人々には、癒しの効果を与える。

1 悲しみの森へようこそ

かつてこの場所には豊かな木々が育ち、土壌の保水力も高かった。しかし、木々の伐採により、土壌は流され、木々は枯れ、森は悲しみの森となった。

癒しの森の紹介
癒しの森は、自然の恵みを受け、木々の成長と共に、心も癒やされる癒しの森です。木々の葉が揺れる音、鳥のさえずり、風の音、水の音、土の匂い、すべてが癒しの森の恵みです。癒しの森へようこそ。

**一般社団法人
南北米福地開発協会 事務局**

〒213-0001
神奈川県川崎市高津区
溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821
FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行 (旧一般会員会費納入)
記号10280 番号61349751
一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com
ホームページ: <https://asd-nsa.com>

会員種別

- ◆ 会員一口1000円/月
- ◆ 特別会員一口1万円/月
- ◆ 法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。
会費振替用口座 ゆうちょ銀行
00290-5-113072

加入者名: シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥ 入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

お便り募集

ワタリオオキチョウ

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局
office@asd-nsa.com
へお願いします。